



ボンバルディアDHC-8型機問題 に対する取り組み報告

早急な再発防止と同型機の真の安全を求める！

日乗連は既に2006年2月7,8日に鹿児島で開催した「航空安全シンポジウム」においてDHC-8-400の多発するトラブル事例を取り上げて問題提起をし、また、国際会議(IFALPA AA委員会)でも報告を行い情報収集をしていました。残念ながらこれらの取り組みが生かされる前の2007年3月13日に高知空港でランディングギアトラブル事故が発生してしまいましたが、発生直後には現場に安全担当者を派遣、当該乗員の人権擁護と事故情報の収集を行いました。今後、日乗連は同種事故再発防止の為に、航空安全会議の航空局交渉やAA.ADO委員会での情報収集と取り組みを強化していきます。更に報道被害問題への取り組みも強化していきます。

1. 再発防止への取り組み

航空安全会議と共同で、航空局交渉を行います。

- ✓ トラブル情報の公開を求める。
- ✓ DHC8型機の過去からのトラブル情報は、把握していたのか？
- ✓ TCDの発行は適切であり、その対応処置が再発防止に有効であったのか？
- ✓ 高知空港での消防・救急・救難体制は万全であったのか？・・・など。

DHC8型機を運航している日乗連加盟組合でのプロジェクトチームを作ります。

- ✓ DHC8型機を運航している組合と日乗連が機材に係わる問題点を抽出し、再発防止に向けた取り組みを強化します。

国際活動の強化。

- ✓ DHC8型機のトラブル問題についてIFALPAでの議論を更に推し進め、国際活動を強化します。

2. 報道被害の取り組み

実名報道したマスコミに即刻抗議をしました。

記者会見で、今後実名報道しないように要請をしました。

報道被害専門の弁護士を選任して、問題解決にあたります。

報道被害に対する取り組みを長期的に進めていきます。

